

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	静岡デザイン専門学校
設置者名	学校法人 静岡理科大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程 (服飾・家政)	ファッション ビジネス科	夜・通信	930	160	
	ファッション デザイン科	夜・通信	1830	240	
	ブライダル・ ビューティー科	夜・通信	870	160	
専門課程 (文化・教養)	グラフィック デザイン科	夜・通信	1680	240	
	プロダクトデザイン科	夜・通信	2040	240	
	インテリアデザイン科	夜・通信	900	240	
	フラワーデザイン科	夜・通信	990	160	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.sdc.ac.jp/school_info/public

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	静岡デザイン専門学校
設置者名	学校法人静岡理工科大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校法人静岡理工科大学のホームページ (https://sist-net.ac.jp/information/) にて「役員名簿」を公開
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	物流等関連企業 代表取締役会長	令和3年10月1日～ 令和5年9月30日	学校法人運営についての意見 財務担当
非常勤	食品等関連企業 代表取締役会長	令和3年10月1日～ 令和5年9月30日	学校法人運営についての意見
非常勤	物流等関連企業 元相談役	令和3年10月1日～ 令和5年9月30日	学校法人運営についての意見
非常勤	大学 名誉教授	令和3年10月1日～ 令和5年9月30日	学校法人運営についての意見 学事顧問
非常勤	証券業 代表取締役社長	令和3年10月1日～ 令和5年9月30日	学校法人運営についての意見
非常勤	冷蔵倉庫業 取締役社長	令和3年10月1日～ 令和5年9月30日	学校法人運営についての意見
非常勤	システム関連企業 代表取締役社長	令和3年10月1日～ 令和5年9月30日	学校法人運営についての意見 情報 IR 担当
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	静岡デザイン専門学校
設置者名	学校法人 静岡理工科大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<p>授業計画(シラバス)の作成過程及び公表について</p> <p>12月 ～ 次年度授業計画の策定</p> <p>1月 ～ 担当教員への授業計画(シラバス)作成依頼</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業計画(シラバス)テンプレート配布 ・授業計画(シラバス)ガイドライン配布 <p>2月 ～ 授業計画(シラバス)回収・チェック</p> <p>3月 ～ 授業計画(シラバス)訂正・公表準備</p> <p>4月 ～ 授業計画(シラバス)公表</p>	
授業計画書の公表方法	https://www.sdc.ac.jp/school_info/public
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<p>各学科の定めるディプロマポリシー(卒業認定/専門士授与の方針)に掲げる資質・能力の習得状況等は、カリキュラムポリシー(教育課程編成・実施の方針)の「成績評価の方法」に掲げる方法に加え、学生生活上の客観的な指導、卒業対象学生を行うアンケート調査の状況、各種資格取得状況・制作した作品のレベルと志望進路状況(専門領域への就職率及び進学率等)から学修成果の達成状況进行评估する。</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

成績は、科目ごと4段階評語(優・良・可・不可)、素点(0~100点)による評価で表す。不可及び59点以下は不合格となり単位を修得できない。また、成績評価をポイントに変換し、その総和の平均を成績評価指標とする。成績証明書は、4段階評価の評語で表示される。

評語	素点	意味	ポイント
優	80~100点	到達目標をほぼ達成している。	4
良	70~79点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2
可	60~69点	到達目標の最低限は満たしている。	1
不可	0~59点	到達目標を充足していない。	0

成績評価指数 = ((4×優の科目数)+(2×良の科目数)+(1×可の科目数))÷科目数

客観的な指標の
算出方法の公表方法

https://www.sdc.ac.jp/school_info/public

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

本校を卒業する人材は、学則にある「教育基本法に則り、学校教育法に従い、服装並びにデザイン業務に関する知識・技能を授けるとともに一般教養を高め、有能な職業人、社会人を育成する」ことが教育目的であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。

■専門分野についての基本的な技術・知識を有し、社会のその分野の中で活用することができる。

■キャリア教育等の基本的なスキルを身につけている。

■社会人基礎力を身につけている。

また、以下の条件を満たしていなければならない。

■必須科目の成績評価に不可が無いこと。

■年間出席時限数が年間消化時間の85%以上であること。

■学納金が未納でないこと。

本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。

全校共通および各学科のディプロマポリシーの定める基準に達しており、全ての科目を修得(不可科目がないこと)した者に卒業を認定している。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

https://www.sdc.ac.jp/school_info/public

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	静岡デザイン専門学校
設置者名	学校法人 静岡理工科大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://sist-net.ac.jp/information/
収支計算書又は損益計算書	https://sist-net.ac.jp/information/
財産目録	https://sist-net.ac.jp/information/
事業報告書	https://sist-net.ac.jp/information/
監事による監査報告（書）	https://sist-net.ac.jp/information/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		専門課程	ファッションビジネス科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,980 単位時間	330 単位時間	1,110 単位時間	540 単位時間		
			1,980 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		55人	0人	2人	22人	24人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）																							
<p>(概要)</p> <p>授業計画(シラバス)の作成過程及び公表について</p> <p>12月～次年度授業計画の策定</p> <p>1月～担当教員への授業計画(シラバス)作成依頼</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業計画(シラバス)テンプレート配布 ・授業計画(シラバス)ガイドライン配布 <p>2月～授業計画(シラバス)回収・チェック</p> <p>3月～授業計画(シラバス)訂正・公表準備</p> <p>4月～授業計画(シラバス)公表</p>																							
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>(概要)</p> <p>成績表は、科目ごと4段階評語(優・良・可・不可)、素点(0～100点)による評価で表す。不可および59点以下は不合格となり、単位を修得できない。また、成績評価をポイントに変換し、その総和の平均値を成績評価指標とする。</p> <p>成績証明書は、4段階評価の評語で表示される。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>評語</th> <th>素点</th> <th>意味</th> <th>ポイント</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>優</td> <td>80～100点</td> <td>到達目標をほぼ達成している。</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>良</td> <td>70～79点</td> <td>不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>可</td> <td>60～69点</td> <td>到達目標の最低限は満たしている。</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>不可</td> <td>0～59点</td> <td>到達目標を充足していない。</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>成績評価指数 = ((4×優の科目数) + (2×良の科目数) + (1×可の科目数)) ÷ 科目数</p>				評語	素点	意味	ポイント	優	80～100点	到達目標をほぼ達成している。	4	良	70～79点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2	可	60～69点	到達目標の最低限は満たしている。	1	不可	0～59点	到達目標を充足していない。	0
評語	素点	意味	ポイント																				
優	80～100点	到達目標をほぼ達成している。	4																				
良	70～79点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2																				
可	60～69点	到達目標の最低限は満たしている。	1																				
不可	0～59点	到達目標を充足していない。	0																				
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>本校を卒業する人材は、学則にある「教育基本法に則り、学校教育法に従い、服装並びにデザイン業務に関する知識・技能を授けるとともに一般教養を高め、有能な職業人、社会人を育成する」ことが教育目的であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■専門分野についての基本的な技術・知識を有し、社会のその分野の中で活用することができる。 ■キャリア教育等の基本的なスキルを身につけている。 ■社会人基礎力を身につけている。 <p>また、以下の条件を満たしていなければならない。</p>																							

<ul style="list-style-type: none"> ■ 必須科目の成績評価に不可が無いこと。 ■ 年間出席時限数が年間消化時間の85%以上であること。 ■ 学納金が未納でないこと。 <p>本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。</p>
学修支援等
(概要) <ul style="list-style-type: none"> ・ 個別指導の実施 ・ 補習、再テスト等の実施による習熟度向上対策の実施

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
15人 (100%)	0人 (0%)	14人 (93.3%)	1人 (6.7%)
(主な就職、業界等) ファッションアドバイザー、アパレル店舗マネージャー、店舗スタッフ、バイヤー、ファッションコーディネーター、プレス、スタイリスト、マーチャンダイザー等			
(就職指導内容) <ul style="list-style-type: none"> ・ それぞれの適正を見極め、企業とのマッチングを行う。 ・ 身だしなみ講座実施、面接指導、履歴書指導、インターンシップのフォロー 			
(主な学修成果（資格・検定等）) <ul style="list-style-type: none"> ・ ファッションビジネス検定3級 ・ AFT 色彩能力検定3級 ・ パーソナルカラー検定中級、上級 ・ 商業ラッピング検定3級 			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
41人	4人	9.8%
(中途退学の主な理由) 進路変更、経済的理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) <ul style="list-style-type: none"> ・ 休んだ当日に本人もしくは自宅に連絡し、状況を把握する。 ・ 日頃からの声掛け、定期的な面談を行い、学生の変化の早期発見に努めている。 		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		専門課程	ファッションデザイン科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2,970 単位時間	480 単位時間	510 単位時間	1,980 単位時間		
			2,970 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		54人	0人	3人	22人	25人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）																							
<p>（概要）</p> <p>授業計画（シラバス）の作成過程及び公表について</p> <p>12月～次年度授業計画の策定</p> <p>1月～担当教員への授業計画（シラバス）作成依頼</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業計画（シラバス）テンプレート配布 ・授業計画（シラバス）ガイドライン配布 <p>2月～授業計画（シラバス）回収・チェック</p> <p>3月～授業計画（シラバス）訂正・公表準備</p> <p>4月～授業計画（シラバス）公表</p>																							
成績評価の基準・方法																							
<p>（概要）</p> <p>成績表は、科目ごと4段階評語（優・良・可・不可）、素点（0～100点）による評価で表す。不可および59点以下は不合格となり、単位を修得できない。また、成績評価をポイントに変換し、その総和の平均値を成績評価指標とする。</p> <p>成績証明書は、4段階評価の評語で表示される。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>評語</th> <th>素点</th> <th>意味</th> <th>ポイント</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>優</td> <td>80～100点</td> <td>到達目標をほぼ達成している。</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>良</td> <td>70～79点</td> <td>不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>可</td> <td>60～69点</td> <td>到達目標の最低限は満たしている。</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>不可</td> <td>0～59点</td> <td>到達目標を充足していない。</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>成績評価指数=（4×優の科目数）+（2×良の科目数）+（1×可の科目数）÷科目数</p>				評語	素点	意味	ポイント	優	80～100点	到達目標をほぼ達成している。	4	良	70～79点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2	可	60～69点	到達目標の最低限は満たしている。	1	不可	0～59点	到達目標を充足していない。	0
評語	素点	意味	ポイント																				
優	80～100点	到達目標をほぼ達成している。	4																				
良	70～79点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2																				
可	60～69点	到達目標の最低限は満たしている。	1																				
不可	0～59点	到達目標を充足していない。	0																				
卒業・進級の認定基準																							
<p>（概要）</p> <p>本校を卒業する人材は、学則にある「教育基本法に則り、学校教育法に従い、服装並びにデザイン業務に関する知識・技能を授けるとともに一般教養を高め、有能な職業人、社会人を育成する」ことが教育目的であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■専門分野についての基本的な技術・知識を有し、社会のその分野の中で活用することができる。 ■キャリア教育等の基本的なスキルを身につけている。 ■社会人基礎力を身につけている。 <p>また、以下の条件を満たしていなければならない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■必須科目の成績評価に不可が無いこと。 ■年間出席時限数が年間消化時間の85%以上であること。 ■学納金が未納でないこと。 <p>本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。</p>																							

学修支援等
(概要) <ul style="list-style-type: none"> ・個別指導の実施 ・補習、再テスト等の実施による習熟度向上対策の実施

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
10人 (100%)	0人 (0%)	7人 (70.0%)	3人 (30.0%)
(主な就職、業界等) ファッションデザイナー、パタンナー、マーチャンダイザー、アパレルプランナー、ファッションリフォーマー、衣装デザイナー、服飾縫製、裁断士等			
(就職指導内容) <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの適正を見極め、企業とのマッチングを行う。 ・身だしなみ講座実施、面接指導、履歴書指導、インターンシップのフォロー 			
(主な学修成果（資格・検定等）) <ul style="list-style-type: none"> ・パターンメイキング技術検定2級、3級 ・洋裁技術検定 ・AFT色彩能力検定2級、3級 ・専修学校専門課程准教員認定 			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
58人	5人	8.6%
(中途退学の主な理由) 進路変更、体調不良		
(中退防止・中退者支援のための取組) <ul style="list-style-type: none"> ・休んだ当日に本人もしくは自宅に連絡し、状況を把握する。 ・日頃からの声掛け、定期的な面談を行い、学生の変化の早期発見に努めている。 		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		専門課程	ブライダル・ビューティー科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,920 単位時間	360 単位時間	330 単位時間	1,230 単位時間		
			1,920 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		76人	0人	5人	20人	25人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)			
(概要) 授業計画(シラバス)の作成過程及び公表について 12月～次年度授業計画の策定 1月～担当教員への授業計画(シラバス)作成依頼 ・授業計画(シラバス)テンプレート配布 ・授業計画(シラバス)ガイドライン配布 2月～授業計画(シラバス)回収・チェック 3月～授業計画(シラバス)訂正・公表準備 4月～授業計画(シラバス)公表			
成績評価の基準・方法			
(概要) 成績表は、科目ごと4段階評語(優・良・可・不可)、素点(0～100点)による評価で表す。不可および59点以下は不合格となり、単位を修得できない。また、成績評価をポイントに変換し、その総和の平均値を成績評価指標とする。 成績証明書は、4段階評価の評語で表示される。			
	評語	素点	意味
	優	80～100点	到達目標をほぼ達成している。
	良	70～79点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。
	可	60～69点	到達目標の最低限は満たしている。
	不可	0～59点	到達目標を充足していない。
成績評価指数= (4×優の科目数) + (2×良の科目数) + (1×可の科目数) ÷ 科目数			
卒業・進級の認定基準			
(概要) 本校を卒業する人材は、学則にある「教育基本法に則り、学校教育法に従い、服装並びにデザイン業務に関する知識・技能を授けるとともに一般教養を高め、有能な職業人、社会人を育成する」ことが教育目的であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。 ■専門分野についての基本的な技術・知識を有し、社会のその分野の中で活用することができる。 ■キャリア教育等の基本的なスキルを身につけている。 ■社会人基礎力を身につけている。 また、以下の条件を満たしていなければならない。 ■必須科目の成績評価に不可が無いこと。 ■年間出席時限数が年間消化時間の85%以上であること。 ■学納金が未納でないこと。			

本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。
学修支援等
(概要) <ul style="list-style-type: none"> ・個別指導の実施 ・補習、再テスト等の実施による習熟度向上対策の実施

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
41人 (100%)	1人 (2.4%)	37人 (90.2%)	3人 (7.3%)
(主な就職、業界等) ブライダルプランナー、エステティシャン、ビューティーアドバイザー、ネイリスト、 メイクアップアーティスト、メイクアドバイザー、セレモニースタッフ等			
(就職指導内容) <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの適正を見極め、企業とのマッチングを行う。 ・身だしなみ講座実施、面接指導、履歴書指導、インターンシップのフォロー 			
(主な学修成果（資格・検定等）) <ul style="list-style-type: none"> ・JMA セルフメイク検定 ・パーソナルカラー検定 中級、上級 ・AFT 色彩能力検定 2級、3級 ・全日本ブライダル協会 ジュニアライセンス検定 ・ネイリスト技能検定 2級、3級 ・シュウウエムラメイクアップ技能検定 			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
82人	1人	1.2%
(中途退学の主な理由) 進路変更、体調不良		
(中退防止・中退者支援のための取組) <ul style="list-style-type: none"> ・休んだ当日に本人もしくは自宅に連絡し、状況を把握する。 ・日頃からの声掛け、定期的な面談を行い、学生の変化の早期発見に努めている。 		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門課程	グラフィックデザイン科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2,940 単位時間	360 単位時間	2,310 単位時間	270 単位時間		
			2,940 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
180人		251人	0人	5人	45人	50人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）																							
<p>（概要）</p> <p>授業計画（シラバス）の作成過程及び公表について</p> <p>12月～次年度授業計画の策定</p> <p>1月～担当教員への授業計画（シラバス）作成依頼</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業計画（シラバス）テンプレート配布 ・授業計画（シラバス）ガイドライン配布 <p>2月～授業計画（シラバス）回収・チェック</p> <p>3月～授業計画（シラバス）訂正・公表準備</p> <p>4月～授業計画（シラバス）公表</p>																							
成績評価の基準・方法																							
<p>（概要）</p> <p>成績表は、科目ごと4段階評語（優・良・可・不可）、素点（0～100点）による評価で表す。不可および59点以下は不合格となり、単位を修得できない。また、成績評価をポイントに変換し、その総和の平均値を成績評価指標とする。</p> <p>成績証明書は、4段階評価の評語で表示される。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>評語</th> <th>素点</th> <th>意味</th> <th>ポイント</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>優</td> <td>80～100点</td> <td>到達目標をほぼ達成している。</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>良</td> <td>70～79点</td> <td>不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>可</td> <td>60～69点</td> <td>到達目標の最低限は満たしている。</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>不可</td> <td>0～59点</td> <td>到達目標を充足していない。</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>成績評価指数=（4×優の科目数）+（2×良の科目数）+（1×可の科目数）÷科目数</p>				評語	素点	意味	ポイント	優	80～100点	到達目標をほぼ達成している。	4	良	70～79点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2	可	60～69点	到達目標の最低限は満たしている。	1	不可	0～59点	到達目標を充足していない。	0
評語	素点	意味	ポイント																				
優	80～100点	到達目標をほぼ達成している。	4																				
良	70～79点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2																				
可	60～69点	到達目標の最低限は満たしている。	1																				
不可	0～59点	到達目標を充足していない。	0																				
卒業・進級の認定基準																							
<p>（概要）</p> <p>本校を卒業する人材は、学則にある「教育基本法に則り、学校教育法に従い、服装並びにデザイン業務に関する知識・技能を授けるとともに一般教養を高め、有能な職業人、社会人を育成する」ことが教育目的であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■専門分野についての基本的な技術・知識を有し、社会のその分野の中で活用することができる。 ■キャリア教育等の基本的なスキルを身につけている。 ■社会人基礎力を身につけている。 <p>また、以下の条件を満たしていなければならない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■必須科目の成績評価に不可が無いこと。 ■年間出席時限数が年間消化時間の85%以上であること。 ■学納金が未納でないこと。 <p>本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。</p>																							

学修支援等
(概要) <ul style="list-style-type: none"> ・個別指導の実施 ・補習、再テスト等の実施による習熟度向上対策の実施

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
61人 (100%)	0人 (0%)	56人 (91.8%)	5人 (8.2%)
(主な就職、業界等) 広告関連企業、Web制作会社、印刷会社、デザイン事務所、デザイン制作会社、写真スタジオ、映像制作会社			
(就職指導内容) <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの適正を見極め、企業とのマッチングを行う。 ・身だしなみ講座実施、面接指導、履歴書指導、インターンシップのフォロー 			
(主な学修成果（資格・検定等）) <ul style="list-style-type: none"> ・AFT色彩検定2級、3級 ・ビジネスマナー検定3級 ・情報処理技能検定2級、3級 			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
251人	19人	7.6%
(中途退学の主な理由) 進路変更、体調不良、精神的な体調不良、学業不振、経済的な理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) <ul style="list-style-type: none"> ・休んだ当日に本人もしくは自宅に連絡し、状況を把握する。 ・日頃からの声掛け、定期的な面談を行い、学生の変化の早期発見に努めている。 		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門課程	プロダクトデザイン科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2,940 単位時間	330 単位時間	1,800 単位時間	810 単位時間		
			2,940 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		58人	0人	3人	31人	34人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）																							
<p>（概要）</p> <p>授業計画（シラバス）の作成過程及び公表について</p> <p>12月～次年度授業計画の策定</p> <p>1月～担当教員への授業計画（シラバス）作成依頼</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業計画（シラバス）テンプレート配布 ・授業計画（シラバス）ガイドライン配布 <p>2月～授業計画（シラバス）回収・チェック</p> <p>3月～授業計画（シラバス）訂正・公表準備</p> <p>4月～授業計画（シラバス）公表</p>																							
成績評価の基準・方法																							
<p>（概要）</p> <p>成績表は、科目ごと4段階評語（優・良・可・不可）、素点（0～100点）による評価で表す。不可および59点以下は不合格となり、単位を修得できない。また、成績評価をポイントに変換し、その総和の平均値を成績評価指標とする。</p> <p>成績証明書は、4段階評価の評語で表示される。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評語</th> <th>素点</th> <th>意味</th> <th>ポイント</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>優</td> <td>80～100点</td> <td>到達目標をほぼ達成している。</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>良</td> <td>70～79点</td> <td>不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>可</td> <td>60～69点</td> <td>到達目標の最低限は満たしている。</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>不可</td> <td>0～59点</td> <td>到達目標を充足していない。</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>成績評価指数=（4×優の科目数）+（2×良の科目数）+（1×可の科目数）÷科目数</p>				評語	素点	意味	ポイント	優	80～100点	到達目標をほぼ達成している。	4	良	70～79点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2	可	60～69点	到達目標の最低限は満たしている。	1	不可	0～59点	到達目標を充足していない。	0
評語	素点	意味	ポイント																				
優	80～100点	到達目標をほぼ達成している。	4																				
良	70～79点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2																				
可	60～69点	到達目標の最低限は満たしている。	1																				
不可	0～59点	到達目標を充足していない。	0																				
卒業・進級の認定基準																							
<p>（概要）</p> <p>本校を卒業する人材は、学則にある「教育基本法に則り、学校教育法に従い、服装並びにデザイン業務に関する知識・技能を授けるとともに一般教養を高め、有能な職業人、社会人を育成する」ことが教育目的であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■専門分野についての基本的な技術・知識を有し、社会のその分野の中で活用することができる。 ■キャリア教育等の基本的なスキルを身につけている。 ■社会人基礎力を身につけている。 <p>また、以下の条件を満たしていなければならない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■必須科目の成績評価に不可が無いこと。 ■年間出席時限数が年間消化時間の85%以上であること。 ■学納金が未納でないこと。 <p>本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。</p>																							

学修支援等
(概要)
<ul style="list-style-type: none"> ・個別指導の実施 ・補習、再テスト等の実施による習熟度向上対策の実施

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
15人 (100%)	0人 (0%)	13人 (86.7%)	2人 (13.3%)
(主な就職、業界等)			
プロダクトデザイナー、家具デザイナー、雑貨デザイナー、ジュエリーデザイナー、家具企画販売、CADオペレーター、家具職人、伝統工芸職人等			
(就職指導内容)			
<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの適正を見極め、企業とのマッチングを行う。 ・身だしなみ講座実施、面接指導、履歴書指導、インターンシップのフォロー 			
(主な学修成果（資格・検定等））			
<ul style="list-style-type: none"> ・AFT色彩検定2級、3級 ・ビジネス実務マナー検定3級 ・プロダクトデザイン検定2級 ・レタリング検定2級、3級 			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
54人	2人	3.7%
(中途退学の主な理由)		
体調不良、進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
<ul style="list-style-type: none"> ・休んだ当日に本人もしくは自宅に連絡し、状況を把握する。 ・日頃からの声掛け、定期的な面談を行い、学生の変化の早期発見に努めている。 		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
文化・教養		専門課程	インテリアデザイン科	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
3年	昼	2,910 単位時間	960 単位時間	270 単位時間	1,680 単位時間	
			2,910 単位時間/単位			
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
60人		67人	2人	3人	23人	26人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）																							
<p>（概要）</p> <p>授業計画（シラバス）の作成過程及び公表について</p> <p>12月～次年度授業計画の策定</p> <p>1月～担当教員への授業計画（シラバス）作成依頼</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業計画（シラバス）テンプレート配布 ・授業計画（シラバス）ガイドライン配布 <p>2月～授業計画（シラバス）回収・チェック</p> <p>3月～授業計画（シラバス）訂正・公表準備</p> <p>4月～授業計画（シラバス）公表</p>																							
成績評価の基準・方法																							
<p>（概要）</p> <p>成績表は、科目ごと4段階評語（優・良・可・不可）、素点（0～100点）による評価で表す。不可および59点以下は不合格となり、単位を修得できない。また、成績評価をポイントに変換し、その総和の平均値を成績評価指標とする。</p> <p>成績証明書は、4段階評価の評語で表示される。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>評語</th> <th>素点</th> <th>意味</th> <th>ポイント</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>優</td> <td>80～100点</td> <td>到達目標をほぼ達成している。</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>良</td> <td>70～79点</td> <td>不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>可</td> <td>60～69点</td> <td>到達目標の最低限は満たしている。</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>不可</td> <td>0～59点</td> <td>到達目標を充足していない。</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>成績評価指数=（4×優の科目数）+（2×良の科目数）+（1×可の科目数）÷科目数</p>				評語	素点	意味	ポイント	優	80～100点	到達目標をほぼ達成している。	4	良	70～79点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2	可	60～69点	到達目標の最低限は満たしている。	1	不可	0～59点	到達目標を充足していない。	0
評語	素点	意味	ポイント																				
優	80～100点	到達目標をほぼ達成している。	4																				
良	70～79点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2																				
可	60～69点	到達目標の最低限は満たしている。	1																				
不可	0～59点	到達目標を充足していない。	0																				
卒業・進級の認定基準																							
<p>（概要）</p> <p>本校を卒業する人材は、学則にある「教育基本法に則り、学校教育法に従い、服装並びにデザイン業務に関する知識・技能を授けるとともに一般教養を高め、有能な職業人、社会人を育成する」ことが教育目的であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■専門分野についての基本的な技術・知識を有し、社会のその分野の中で活用することができる。 ■キャリア教育等の基本的なスキルを身につけている。 ■社会人基礎力を身につけている。 <p>また、以下の条件を満たしていなければならない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■必須科目の成績評価に不可が無いこと。 ■年間出席時限数が年間消化時間の85%以上であること。 																							

<p>■学納金が未納でないこと。</p> <p>本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。</p>
学修支援等
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別指導の実施 ・補習、再テスト等の実施による習熟度向上対策の実施

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
8人 (100%)	0人 (0%)	8人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) インテリアコーディネーター、インテリアデザイナー、ハウジングアドバイザー、エクステリアデザイナー、ディスプレイデザイナー、住宅・店舗設計施工等			
(就職指導内容) ・それぞれの適正を見極め、企業とのマッチングを行う。 ・身だしなみ講座実施、面接指導、履歴書指導、インターンシップのフォロー			
(主な学修成果（資格・検定等）) ・インテリアコーディネーター資格試験 ・建築CAD検定3級 ・AFT色彩検定2級、3級 ・ビジネス実務マナー検定3級			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
54人	2人	3.7%
(中途退学の主な理由) 体調不良、経済的な理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・休んだ当日に本人もしくは自宅に連絡し、状況を把握する。 ・日頃からの声掛け、定期的な面談を行い、学生の変化の早期発見に努めている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		専門課程	フラワーデザイン科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,950 単位時間	420 単位時間	1,080 単位時間	450 単位時間		
			1,950 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		38人	0人	4人	25人	29人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）																							
<p>（概要）</p> <p>授業計画（シラバス）の作成過程及び公表について</p> <p>12月～次年度授業計画の策定</p> <p>1月～担当教員への授業計画（シラバス）作成依頼</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業計画（シラバス）テンプレート配布 ・授業計画（シラバス）ガイドライン配布 <p>2月～授業計画（シラバス）回収・チェック</p> <p>3月～授業計画（シラバス）訂正・公表準備</p> <p>4月～授業計画（シラバス）公表</p>																							
成績評価の基準・方法																							
<p>（概要）</p> <p>成績表は、科目ごと4段階評語（優・良・可・不可）、素点（0～100点）による評価で表す。不可および59点以下は不合格となり、単位を修得できない。また、成績評価をポイントに変換し、その総和の平均値を成績評価指標とする。</p> <p>成績証明書は、4段階評価の評語で表示される。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>評語</th> <th>素点</th> <th>意味</th> <th>ポイント</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>優</td> <td>80～100点</td> <td>到達目標をほぼ達成している。</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>良</td> <td>70～79点</td> <td>不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>可</td> <td>60～69点</td> <td>到達目標の最低限は満たしている。</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>不可</td> <td>0～59点</td> <td>到達目標を充足していない。</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>成績評価指数=（4×優の科目数）+（2×良の科目数）+（1×可の科目数）÷科目数</p>				評語	素点	意味	ポイント	優	80～100点	到達目標をほぼ達成している。	4	良	70～79点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2	可	60～69点	到達目標の最低限は満たしている。	1	不可	0～59点	到達目標を充足していない。	0
評語	素点	意味	ポイント																				
優	80～100点	到達目標をほぼ達成している。	4																				
良	70～79点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2																				
可	60～69点	到達目標の最低限は満たしている。	1																				
不可	0～59点	到達目標を充足していない。	0																				
卒業・進級の認定基準																							
<p>（概要）</p> <p>本校を卒業する人材は、学則にある「教育基本法に則り、学校教育法に従い、服装並びにデザイン業務に関する知識・技能を授けるとともに一般教養を高め、有能な職業人、社会人を育成する」ことが教育目的であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■専門分野についての基本的な技術・知識を有し、社会のその分野の中で活用することができる。 ■キャリア教育等の基本的なスキルを身につけている。 ■社会人基礎力を身につけている。 <p>また、以下の条件を満たしていなければならない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■必須科目の成績評価に不可が無いこと。 ■年間出席時限数が年間消化時間の85%以上であること。 ■学納金が未納でないこと。 <p>本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。</p>																							

学修支援等
(概要) <ul style="list-style-type: none"> ・個別指導の実施 ・補習、再テスト等の実施による習熟度向上対策の実施

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
22人 (100%)	0人 (0%)	20人 (90.9%)	2人 (9.1%)
(主な就職、業界等) フローリスト、ブライダルフラワープランナー、フラワーデザイナー、 フラワースタイリスト、グリーンアドバイザー、園芸福祉士等			
(就職指導内容) <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの適正を見極め、企業とのマッチングを行う。 ・身だしなみ講座実施、面接指導、履歴書指導、インターンシップのフォロー 			
(主な学修成果（資格・検定等）) <ul style="list-style-type: none"> ・フラワー装飾技能検定 ・ブライダルフラワープランナー検定 ・AFT 色彩能力検定 2 級、3 級 ・販売士検定 ・サービス接客検定 			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
36人	0人	0.0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) <ul style="list-style-type: none"> ・休んだ当日に本人もしくは自宅に連絡し、状況を把握する。 ・日頃からの声掛け、定期的な面談を行い、学生の変化の早期発見に努めている。 		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
ファッションビジネス科	220,000 円	890,000 円	円	
ファッションデザイン科	220,000 円	890,000 円	円	
ブライダル・ビューティー科	220,000 円	890,000 円	円	
グラフィックデザイン科	220,000 円	960,000 円	円	
プロダクトデザイン科	220,000 円	960,000 円	円	
インテリアデザイン科	220,000 円	960,000 円	円	
フラワーデザイン科	220,000 円	890,000 円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
本校では人物、学力に優れ、他の模範となるであろうと認められる者に対し、学費を優遇する特待生制度がある。本校の行う特待生入試の試験結果に基づき特待生・準特待生 A・準特待生 B・準特待生 C を認定する。				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.sdc.ac.jp/school_info/public		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自校の教育活動や自己評価結果について、自己評価の客観性・透明性を高めるとともに、学校運営の改善、教育力の向上に資することを目的とする。 ・ 定例の学校関係者評価委員会を開催。学内委員より自己評価結果及び改善策を説明し、 学外委員の評価を受けた後、結果を取りまとめて公表する。 ・ 主な評価項目 (1)教育理念・目標 (2)教育活動 (3)教育成果 (4)学生支援 (5)教育環境 (6)学生の募集と受入れ (7)教職員組織、学校運営・管理、財務、法令等の遵守 (8)社会貢献・地域貢献、国際交流 ・ 評価委員会の構成 定員：6名 (企業：3名 卒業生：1名 保護者：1名 地域住民：1名) ・ 評価結果の活用方法 評価結果について、校長 (責任者) を中心とした運営委員会で改善方策を検討し、可能な範囲で可能な限り早期に改善を実施する。 		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
静岡デザイン専門学校 後援会	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日	保護者
柴田千枝美デザイン事務所	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日	卒業生
株式会社大丸松坂屋百貨店	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日	関係業界
T Design	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日	関係業界

株式会社加減乗除	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日	関係業界
伝馬町発展会	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日	近隣住民
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.sdc.ac.jp/school_info/public		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.sdc.ac.jp/school_info/public
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	H122310000241
学校名	静岡デザイン専門学校
設置者名	学校法人 静岡理工科大学

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		70人	71人	72人
内 訳	第Ⅰ区分	45人	46人	
	第Ⅱ区分	16人	16人	
	第Ⅲ区分	9人	9人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				72人
(備考) 前期終了時に1名退学による取消。後期に2名追加採用。 70名（前期）-1名（取消）+2名（後期追加）=71名（後半期）。 年間支援対象者累計で72名。				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	1人		
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)	0人		
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	1人		
「警告」の区分に連続して該当	0人		
計	2人		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑つて認定の効力を失つた者の数

右以外の大学等		短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)、及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学(期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。)の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	5人
3月以上の停学	0人
年間計	5人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)	0人		
GPA等が下位4分の1	8人		
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	1人		
計	8人		
(備考) 合計8人中、1名がGPA下位4分の1かつ出席率が8割以下に該当。			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。